



生誕100年記念写真展
ロベール・ドアノー
Rétrospective

Robert Doisneau

2012年3月24日[土]→5月13日[日]

開館時間：10:00～18:00(木、金は20時まで) *入館は開館の30分前まで
休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日または振り替え休日の場合翌日休館)ただし5月1日(祝)は開館します
観覧料(税込)：一般800(640)円、学生700(560)円、中学生・65歳以上600(480)円
()内は20名以上の団体料金および東京都写真美術協会の会員、
小学生以下、お身体に障害をお持ちの方とその介護者は無料、第3水曜日は65歳以上無料

主催：クレヴィス
共催：東京都写真美術館
協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社
協力：アトリエ・ロベール・ドアノー
株式会社DNPアートコミュニケーションズ
エールフランス航空
後援：フランス大使館

東京都写真美術館 地下1階展示室 www.syabi.com

©Atelier Robert Doisneau
*パリ市庁舎前のキス、1950年

ロベール・ドアノーは、生来の自由な精神と“イメージの釣り人”とも評される類まれな洞察力で日常の小さなドラマをとらえ、“ドアノー劇場”ともいえるべき独自の世界を生み出し写真史上に大きな足跡を残しました。ドアノーがとらえ続けた軽妙洒落な人間ドラマは、忌憚のない人間賛歌として見るものを幸福感に満ちた世界へ誘い、時代を超えて多くの人々に愛され続けています。人間に対する無限の愛情と好奇心が生み出す忍耐と視線、写真表現に対する飽くなき実験精神。ドアノーの生み出した様々な作品群は、“写真の世紀”と呼ばれた20世紀を見事に反映するものでもあります。

『生誕100年記念写真展 ロベール・ドアノー』は、ロベール・ドアノーの生誕100年にあたる2012年を機に、彼の残したネガ・作品を保管管理する目的で創設されたアトリエ・ロベール・ドアノーの全面協力のもと、その業績を一望にする大規模な回顧展です。約40万点にも及ぶネガから精選した作品約200点は、ドアノーの代名詞とも言えるパリを舞台にした作品はもとより、1920年代の初期作品、第二次大戦中に自らもレジスタンス活動に参加していた抗独地下活動の記録、各界著名人たちのポートレイト、子供たち、さらに初公開となるカラー作品などを網羅。生涯、「自分は芸術家ではない」と言い続けた偉大なるヒューマニズム写真家、ロベール・ドアノー創造の秘密に迫ります。



- 1 * ヴィルヌーヴ・サン・ジョルジュのSNCFの鉄橋、1945年
- 2 * めがねをかけた管理人、1945年
- 3 * 光学的な歪み、1965年
- 4 * プティ・サンブノワのマルグリット・デュラス、1955年
- 5 * リヴォリ通りのスモック姿の子供たち、1978年

©Atelier Robert Doisneau

Rétrospective Robert Doisneau

〒153-0062東京都目黒区三田 1-13-3
恵比寿ガーデンプレイス内
TEL: 03-3280-0099 www.syabi.com



東京都写真美術館
地下1階展示室

◎トークショー
フランシーヌ・ドルディール
(ロベール・ドアノー次女、アトリエ・ロベール・ドアノー代表)

日時：3月24日[土]14時～15時半
会場：2Fラウンジ 定員50名
申し込み方法：当日10時より館内1階総合受付にて
展覧会チケット(当日有効)をお持ちの方に整理券を配布致します。